



なすで
ミナミキイロアザミウマ
の被害が増えています！

ポイント

農薬散布は
かけむらの無いように丁寧に
散布してください。

密度が高まると
防除効果がでにくいので
発生を確認したら
直ちに散布しましょう。



ミナミキイロアザミウマ
による加害
特にへたの部分を好みます



おすすめ！

フレオフロアブルなどで
防除しましょう。



主なミナミキイロアザミウマ防除剤（茎葉散布剤） 平成22年3月17日現在

系統	薬剤名	効果	移行性	速効性	残効性	使用基準
ネオニコチノイド	モスピラン水溶剤	○～◎	◎	○	◎	2000～4000倍 (前日/3回)
マクロライド	アファーム乳剤	○～◎	○	◎	△	2000倍 (前日/2回)
スピノシン	スピノエース顆粒水和剤	◎	△	◎	○	2500～5000倍 (前日/2回)
その他	フレオフロアブル	◎	×	○	◎	1000倍 (前日/4回)

※本資料は関係機関のデータ等を基に作成しています。

農薬の使用にあたってはラベルの表示事項を守りましょう。